

十九世紀の広東語(6)選択疑問文のマーカ―

竹越美奈子

選択疑問文のマーカ―（普通話の“还是”に相当するもの）は、現代香港広東語では、“定”“定係”“抑或”であるが、十九世紀後半から1930年頃までは“𦉳[pi>pe>pei 陽去]”（発音の変化は粵語母音[i]の二重母音化の影響）が流行した。以下、「談早期粵語选择问句析取连词“𦉳”“𦉳系”」（丘宝怡2007『第十届国际粤方言研讨会论文集』pp.173-190）の研究成果を紹介する。

—

“𦉳”は Bridgman(1841)に初めて登場した。同書では1例のみだったが、その後各種の文献で盛んにいられるようになり、選択疑問文のマーカ―として主流になった。（“𦉳”の選択疑問文以外の用例は、*Cantonese Made Easy*の各版本に1例ある）ところが、1930年代以降の文献では用例が激減し、“定”や“抑或”に地位を奪われた。この時期の文献には、「“𦉳”はもはや“定”や“抑或”ほど使われない」という記述も見られる。

表1: 早期粵語文献中の選択疑問文のマーカ―の用例数とパーセント

(丘宝怡2007より作成)

年代	1851-1892	1900-1935	1940-1955
抑或	1(1%)	6(9%)	3(14%)
定/定係	7(10%)	1(1%)	13(62%)
或	10(14%)	0	0
𦉳/𦉳系 1)	33(47%)	59(90%)	5(24%)
只/只係 2)	19(27%)	0	0
还是	1(1%)	0	0
計	71	66	21

1) 備、{口被}、被などを含む

2) {口知}などを含む

“𦉳”が接続する選択肢として使用される文法構造は、十九世紀前半は動詞句（動賓構造）のみであったが、十九世紀後半からは形容詞句、名詞句、文、動詞句も連動式や動補構造など多くの類型が見られるようになり、そして1930年代以降は減少した。

表 2: “鼻” と共起する選択肢の文法構造と用例数

(丘宝怡 2007 より一部改変)

文法構造	1828-1851	1851-1900	1901-1930	1931-1955
1)動詞句	1	13	14	2
2)形容詞句	0	5	14	1
3)名詞句	0	1	6	1
4)文	0	1	9	2
合 計	1	20	43	6

文法構造の例

- 1) 動詞句：你中意{月比}咩，{口被} 中意翼呢？(Bridgeman1841:178)
- 2) 形容詞句：大 {口被} 細？(Wisner1927:85)
- 3) 名詞句：佢打乜野牌，紙牌鼻骨牌呢？(Ball1924:14)
- 4) 文：你嚟 {口被} 我去呀？(Wisner1927:86)

1930 年以降は、“鼻” と共起する選択肢の文法構造の類型が減少するだけでなく、音節数も単音節に限られるようになった。この点は、1947 年の *Cantonese Primer*(p.40)で、“定” や “定係” に比べて “鼻” が使われないことに加えて、使われる場合には選択肢が単音節のときだけであることが指摘されている。(和訳は筆者による)

二者択一を迫る選択疑問文では、選択肢の間に “定、定係、鼻” を用いる。しかしながら、そのうち “鼻” はあまり使われないし、使われたとしても、選択肢が単音節の場合のみである。たとえば “長鼻短呀？” (長いか短いか？)

Disjunctive questions, or questions requesting a choice of alternatives are asked by using *deq*, *deqhay*, or *bey* between the terms. The form *bey* is used rather infrequently, and then only between monosyllables. For example, *jheungbeytunx ah?Long or short?*(Chao 1947:40)

## 二

“抑或” の初出は 1828 年で、“鼻” より早い。1850 年以前の資料では “抑或” は最常用の選択疑問文のマーカーで、その使用は途切れることがなく、どの時代にも一定の割合で使用されている。(19 世紀は 20%、20 世紀の 4、50 年代は約 14%)

“定係” は 1853 年の文献に初出し、19 世紀後半の文献では常に使用されるというわけではなく、用例も 7%ほどにすぎなかった。1900-1930 年はもっ

と使用されなくなるが、1930年以降、ふたたび使用され始め、33%を占めた。

丘宝怡 2007 をもとに作成した、選択疑問文のマーカの変遷は、以下のとおりである。

表 3: 選択疑問文のマーカの変遷

時代	抑或	鼻／鼻係	定／定係
19世紀前半	+	+	+
19世紀後半	+	+ (多い)	+ (少ない)
20世紀前半	+	+ (多い)	+ (少ない)
20世紀後半	+	-	+
現代香港粵語	+	-	+

“抑或”はすべての時代に安定して用いられ、“鼻／鼻係”は一時期大流行したが、その後消滅し、“定／定係”は“鼻／鼻係”の流行時期は劣勢であったが、“鼻／鼻係”の消滅後、再び人気を盛り返した。この変遷の理由や動機について丘宝怡 2007 は特に言及していないが、Aという語彙がBに語彙交替するというような単純な構図ではないようだ。“抑或”“鼻／鼻係”“定／定係”の語源、変遷の動機の解明に関して、文献調査と粵語の下位方言における分布図の双方からの分析が待たれる。